

【営業の概況（2021年度中間会計期間）【単体】

【預り資産（預金、譲渡性預金、公共債・投資信託窓口販売）】

【生命保険窓口販売】【金融商品仲介業務】

お客様の資金運用ニーズに積極的にお応えするため、預金に加え、譲渡性預金、公共債や投資信託の窓口販売により預り資産の積み上げを図りました。

個人預り資産は、預金残高の増加を主因に2021年3月末比989億円増加し、9月末残高は5兆5,609億円となりました。また、法人預り資産についても、2021年3月末比227億円増加し、9月末残高は2兆248億円となりました。

預り資産全体では2021年3月末比496億円増加し、9月末残高は8兆1,563億円となりました。このうち、預金及び譲渡性預金は、2021年3月末比506億円増加し、9月末残高は7兆7,391億円となっております。

なお、生命保険窓口販売の期中取扱実績は214億円、金融商品仲介業務の期中取扱実績は889億円（株式369億円・外国債券等520億円）となりました。

【貸出金】

事業性資金につきましては、期間10年の経営計画『Vision 2027「未来共創プラン』』で掲げている長期ビジョン「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来の共創」の実現に向け、地域金融機関として本業を通じた地域貢献活動に取組んでまいりましたが、地元を中心に2021年3月末比104億円減少し、9月末残高は3兆4,578億円となりました。

また、個人ローンにつきましては、住宅ローンの増加を主因として、2021年3月末比233億円増加し、9月末残高は1兆2,214億円となりました。以上から貸出金全体の残高は、2021年3月末比140億円増加の5兆1,584億円となりました。

【有価証券】

有価証券運用につきましては、株価や金利動向等を踏まえ機動的に運用した結果、2021年3月末比572億円減少し、9月末残高は2兆5,653億円となりました。

【人員】

人員につきましては、出向者を含め前年同期比53人減少し、9月末現在で2,919人になりました。

【償却・引当】

償却・引当につきましては、資産の健全性の維持・向上を図るため従来から厳正な資産査定により実施しております。当期の貸倒引当金は11億円の繰入（前年同期は32億円の繰入）となりました。

【リスク管理債権・再生法開示債権】

リスク管理債権額につきましては、再生支援活動を通じたランクアップや直接償却並びに債権売却によるオフバランス化を実施する等減少に努めた結果、2021年3月末比26億円減少し、9月末残高は886億円になりました。

また、リスク管理債権比率（貸出金残高に占める比率）は2021年3月末比0.05ポイント改善し、9月末では1.72%となりました。

なお、当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に部分直接償却を実施した場合のリスク管理債権比率は2021年3月末比0.04ポイント改善の1.49%となります。

また、再生法開示債権額（総与信ベース）では、2021年3月末比26億円減少し、9月末残高は890億円となりました。また総与信比率は0.05ポイント改善し、1.68%となりました。なお、部分直接償却を実施した場合の再生法開示債権比率は0.05ポイント改善の1.45%となります。

【損益】

本業のもうけを表すコア業務純益につきましては、米国金利の引き下げに伴う外貨調達コストの減少を主因とする資金利益の増加や経費の削減を主因に、前年同期比20億6百万円増益の145億73百万円となりました。

経常利益につきましては、コア業務純益の増益に加え、与信コストが大きく減少したことにより、前年同期比32億37百万円増益の143億48百万円となりました。

中間純利益については、前年同期比19億46百万円増益の97億37百万円となりました。（1株当たり中間純利益51円99銭）

主要な経営指標の推移【単体】

(単位:百万円)

項目	期別	2019年度 中間会計期間	2020年度 中間会計期間	2021年度 中間会計期間	2019年度	2020年度
経常収益		56,143	49,148	51,869	110,829	99,090
業務純益		11,780	11,932	13,659	17,860	19,910
実質業務純益		11,422	14,065	14,125	20,240	23,704
コア業務純益		10,337	13,243	14,573	20,765	24,257
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)		10,211	12,931	14,569	20,671	24,091
経常利益		12,244	11,111	14,348	15,475	19,045
中間純利益		8,414	7,791	9,737	—	—
当期純利益		—	—	—	10,815	13,007

業務純益：預金、貸出金、有価証券などの利息収支を示す「資金利益」、手数料収支を示す「役務取引等利益」及び外国為替、債券の売買損益等を示す「その他業務利益」の三つを合計した業務粗利益から一般貸倒引当金繰入額と経費とを控除したものです。銀行本来の業務から生じる利益を表す指標とされています。なお、業務純益の項目は損益計算書（中間損益計算書）上には設けられていません。

実質業務純益：「業務純益+一般貸倒引当金繰入額」で算出した利益指標です。

コア業務純益：「実質業務純益-国債等債券関係損益」で算出した利益指標です。

資本金 (発行済株式総数)	15,149 (195,272千株)	15,149 (195,272千株)	15,149 (195,272千株)	15,149 (195,272千株)	15,149 (195,272千株)
純資産額	535,566	521,616	557,878	496,220	544,007
総資産額	8,357,984	8,741,756	9,854,206	8,113,634	9,122,688
預金残高	6,475,154	7,154,471	7,479,183	6,711,612	7,511,357
貸出金残高	4,784,716	5,058,086	5,158,469	4,909,791	5,144,425
有価証券残高	2,458,785	2,391,352	2,565,358	2,345,154	2,622,547
単体総自己資本比率 (国際統一基準)	13.25%	12.63%	13.35%	12.70%	12.95%
うち普通株式等Tier1比率	13.25%	12.63%	13.11%	12.70%	12.71%
従業員数[外、平均臨時従業員数]	2,928人 [1,435人]	2,889人 [1,440人]	2,818人 [1,488人]	2,831人 [1,435人]	2,792人 [1,442人]
信託報酬	0	0	0	1	0
信託勘定貸出金残高	—	—	—	—	—
信託勘定有価証券残高 〔信託勘定電子記録移転有価証券表示権利等残高を除く〕	18	18	18	18	18
信託勘定電子記録移転 有価証券表示権利等残高	—	—	—	—	—
信託財産額	6,092	3,921	6,109	6,174	5,113

(注) 2020年度中間会計期間及び2020年度において「その他経常収益」に計上しておりました保険の受取配当金の一部については、2021年度中間会計期間より「役務取引等費用」から控除しております、2020年度中間会計期間及び2020年度の計数の組替を行っております。